

# 製品安全データシート

製造者情報

柳瀬株式会社  
兵庫県丹波市山南町谷川 1 3 8 5  
Tel:0795(77)2151  
作成日：2005年9月21日  
変更日：2023年8月21日  
整理番号：MSDS-Z041



【製品名】 DCP-KE：希釈液

【危険有害性】

GHS 分類

物理学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼 刺激性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境有害性	水性環境急性有害性	区分外
	水性環境慢性有害性	区分外
絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	【可燃性液体】 飲込むと有害のおそれ。 飲んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。	
注意書き	【安全対策】 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけること。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  【応急措置】 飲込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かせず、直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合：多量の水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。	

	<p>気分が悪い場合：医師の診断、手当てを受けること。 火災の場合：消火するために有効な消火剤を使用すること。</p> <p><b>【保管】</b> 涼しく、換気の良い場所で保管すること。</p> <p><b>【廃棄】</b> 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理をすること。</p>
--	--

### 【組織及び成分情報】

化学物質、混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有量 (%)	官報公示番号 (化審法、安衛法)	CAS 番号
ノルマルパラフィン	80-95	非公開	非公開
その他	5-20	非公開	非公開

### 【応急措置】

眼に入った場合	大量の水で洗浄すること。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも 15 分間は洗浄する。症状が続く場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹸を用いて水で十分に洗い落とす。症状が続く場合は医師の診断を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移すこと。直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口を水ですすぎ、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受ける。
応急処置をする者の保護	保護具を着用すること。

### 【火災時の措置】

消火剤	霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡
使ってはならない消火剤	棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
特有の消火方法	利用可能な情報はない。
火災時の特有危険有害性	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
消火を行う者の保護	呼吸保護具を着用する。

### 【露出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	発火源を除くこと。屋内においては、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。作業は風上から行い、風下の人を退避させる。
-----------------------	---

環境に対する注意事項	下水道、河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・除去	ウエス、乾燥砂、おがくず、土等に吸収させ密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

### 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	<p><b>【技術的対策】</b> 火気厳禁。防爆型局所排気装置の使用、設備の密閉化又は換気を十分行う。</p> <p><b>【注意事項】</b> 容器を転倒、落下、引きずる等の扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、粉じんや蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染された保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外立ち入りを禁止する。</p> <p><b>【安全取扱い注意事項】</b> 周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止し、静電気放電を避けるための必要な措置をとる。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触並びに同一場所での保管を避ける。</p>
保管	<p><b>【適切な保管条件】</b> 直射日光を避け、換気の良い涼しい場所に保管する。危険物の表示をして保管する。熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。保管場所に施錠して保管する事が望ましい。</p> <p><b>【安全な容器包装材料】</b> ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。 火気や熱源等の着火源から遠ざける。 酸化剤から離して保管する。</p>

### 【暴露防止及び保護措置】

設備対策	発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会：設定されていない。 ACGIH：設定されていない。
保護具	<p>眼の保護具：保護眼鏡、状況に応じゴーグル型または全面保護眼鏡</p> <p>手の保護具：保護手袋</p> <p>呼吸用の保護具：保護マスク</p> <p>皮膚・身体用保護具：長袖作業着。状況に応じ前掛け、長靴等。</p>

【物理的及び化学的性質】

形状	液体
色	淡い紫色透明
臭い	淡い炭化水素臭
融点・凝固点	測定データなし
比重	0.7729 g/cm <sup>3</sup> (15/4℃)
沸点	234℃
引火点	104℃ (COC)
発火点	測定データなし
爆発限界	測定データなし
流動点	-5.0℃
蒸気圧	2.0kPa (37.8℃)
蒸気密度	測定データなし
溶解度	水に不溶
動粘度	1.902mm <sup>2</sup> /s (40℃)

【安定性及び反応性】

安定性	常温で暗所に貯蔵・保管された場所は安定である。
反応性	データなし
避けるべき条件	高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
避けるべき材料	酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

【有害性情報】

急性毒性	(別表)					
	化学名	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(ミスト)
	ホルマリン	区分外 (>5000mg/kg)	区分外 (>3150mg/kg)	分類 対象外	分類 できない	分類 できない
急性毒性 (経口)	含有成分の ATE から混合物の ATE 算出し、区分外に分類した。					
急性毒性 (経口)	含有成分の ATE から混合物の ATE を算出し、区分外に分類した。					
急性毒性 (ガス)	分類対象外とした。					
急性毒性 (蒸気)	有用な情報がないことから分類できないとした。					

急性毒性 (粉塵、ミスト)	有用な情報がないことから分類できないとした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	混合物の成分濃度による分類より、区分外に分類した。
眼に対する重篤な損傷及び眼刺激	混合物の成分濃度による分類より、区分外に分類した。
呼吸器感受性	有用な情報がないことから分類できないとした。
皮膚感受性	混合物の成分濃度による分類より、区分外に分類した。
生殖細胞変異原性	有用な情報がないことから分類できないとした。
発がん性	有用な情報がないことから分類できないとした。
生殖毒性	有用な情報がないことから分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	有用な情報がないことから分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	有用な情報がないことから分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性	40℃の動粘性率が 20.5mm <sup>2</sup> /s 以下の炭化水素でありヒトの摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告があることから、区分 1 とした。

#### 【環境影響情報】

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

#### 【廃棄上の注意】

残余廃棄物	関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
空容器	空容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【輸送上の注意】

国際規定	海上規制情報：非危険物 航空規制情報：非危険物 国連分類：国連分類に該当しない。
国内規制	陸上規制情報：消防法の規定に従う。 海上規則情報：非危険物 航空規制情報：非危険物 一般の注意事項：運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【適用法令】

毒劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化審法	非該当
PRTR 法	非該当
消防法	危険物第 4 類第 3 石油類、非水溶性液体、危険等級Ⅲ
海洋汚染防止法	施行令別表第 1 有害液体物質 Y 類物質

【その他】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。